

また、ホワイトキューブ主催で、既に介護予防講座を実施しておりノウハウを持っていくことから、4月以降の内容については、白石市文化体育振興財団を中心に協議を進めている。

〔質疑〕 知育絵本贈呈事業の内容を伺う。

〔答弁〕 公益社団法人日本青年会議所で推進しているベビーフースト運動の趣旨に賛同し、令和4年12月に市長が活動宣言を行なったことから、新たな取り組みとして、1歳6カ月から2歳の子どもに、「世界に一つだけの特別な絵本」を贈呈する事業である。

絵本の中に子どもの名前や好きな動物・食べ物などを取り入れ、子ども自身が物語の主人公となる絵本を作成し贈呈することで、読み聞かせ等を通し親子の愛情を深め、また思い出づくりにもなるものと考ええる。

衛生費

〔質疑〕 病院事業運営費貸付金として2億円を計上しているが、内容を伺う。

〔答弁〕 刈田病院の運営において、診療報酬は大きな収入源であるが、4月診療分の診療報酬は6月下旬に入金となることから、その間の職員への給与の支払い、年度当初から必要となる委託や賃貸借契約等に伴う支払い、外来患者の受け入れ体制の確保等、収益を上げるためには多額の費用を要することから、指定管理者からの申し入れにより貸し付けを行うものである。

金などを活用しながら地域の活性化を目指した取り組みを行なっている。

これに伴い、各公民館の役割、負担は増えており、委託料を上げるよう申し入れもあつたと聞けが、長年変わらない人件費等について、どのように精査したのか伺う。

〔答弁〕 令和4年8月、各地区のまちづくり協議会からなる白石まちづくり連合会より、教育委員会あてに公民館事業に係る要望書を提出いただいた。報酬や人員体制の見直しに関する要望内容について検討・協議した結果、臨時職員については賃金単価を増額、公民館長および事務長給与等については、他の施設との整合性についても検討を行う必要があることから、今回は従来と同様の水準で指定管理委託料を計上させていただいた。

民間の給与等も上がってきていることから、今後も引き続き検討していきたいと考えている。

〔質疑〕 令和5年4月から給食費を値上げすることだが、内容について伺う。

〔答弁〕 給食費については平成21年度以降、単価を上げないで来たが、食材の高騰により維持ができなくなってきたことから、小学校で1食276円を317円に、中学校で332円を384円に、幼稚園の副食で200円を230円に値上げを行うものである。

〔質疑〕 保護者への周知はどのように行なったのか。また、異論などはなかったのか。

〔答弁〕 保護者会等での説明の要望があつた学校には直接出向いて説明を行い、全保護者に対しては、本年1月に給食費改定の通知を行なった。説明会では質問等はなく、思うところはあつても、やむを得ないだろうということころであると理解している。



◎令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕 国民健康保険事業における財政調整基金の残高について伺う。

〔答弁〕 1月末の基金残高は、約4億286万8千円であるが、歳入不足のため、令和4年度予算の基金繰入に1億1千400万円を計上していることから、令和4年度末の基金残高は2億8千880万円程度になる見込みである。

〔質疑〕 一般会計繰入金の職員給与費等繰入金について、昨年度はこの項目がなかったが、その理由について伺う。

〔答弁〕 これまで一般職員給与費等は一般会計から支出しており、歳入不足を充足する特別調整交付金や財政調整基金からの繰り入れも見込めたことから、一般会計からの繰り入れは行なっていないが、財政調整基金残高の減少や令和5年度の税率改正にあたり、急激な税率上昇を抑え、被保険者の負担を軽減するため、会計年度任用職員の給与や一般事務費相当について繰り入れを行うものである。

教育費

〔質疑〕 公民館指定管理者委託料について、各地区においては第六次白石市総合計画「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向け、未来共創交付金、まちづくり交付

金などを活用しながら地域の活性化を目指した取り組みを行なっている。